

## 令和5年度 第4回岡崎市入札監視委員会 定例会議 議事録

1 会議の日時 令和6年2月6日(火) 午後2時45分～午後3時35分

2 会議の場所 岡崎市役所 西庁舎7階 702号室

3 出席委員 委員長 櫻井 敬子(弁護士)  
(委員数3) 委員 太田 成紀(公認会計士)  
委員 竹内 孝治(大学准教授)

4 出席した事務局職員

戸谷総務部長、松谷契約課長、金原副課長  
三島主任主査、岩井主任主査  
水越主任主査、大竹主査

5 概 要

(1) 総務部長あいさつ

(2) 報告事項

- ・入札及び契約手続の運用状況(対象期間:令和5年10月～12月)
- ・入札参加停止の状況(対象期間:令和5年10月～12月)

(3) 抽出対象工事等の審議

対象期間:令和5年10月～12月

- ・一般競争入札 6件
- ・指名競争入札 3件
- ・随意契約 1件

(4) その他

- ・中間報告書の内容について  
中間報告書の内容を確認し、櫻井委員長より報告書が提出された。
- ・次回の定例会議について  
後日、調整することになった。

<主な質疑>

質 問・意 見 (委員)	回 答 (岡崎市)
<p><b>【抽出案件の審議】</b></p> <p>1 <u>【No.131】 都市計画道路岡崎環状線 橋りょう予備修正設計業務(岡崎市朝日町ほか1箇町地内)</u></p> <p>○落札率が低い要因は何か。</p> <p>○最低制限価格と同額の入札が非常に多い要因は何か。</p> <p>○工事でも同様なのか。</p> <p>2 <u>【No.3】 矢作川右岸南北道路 道路設計業務(岡崎市矢作町ほか4箇町地内)</u></p>	<p>○こちらは一般競争入札により発注したコンサルタント業務で、落札率が低いものから抽出されています。</p> <p>株式会社近代設計 名古屋支社が落札率79.6%で落札しています。</p> <p>本業務は、平成25年の道路橋示方書に基づき「橋りょう詳細設計業務」を実施しましたが、その後、平成28年に発生した熊本地震などの影響により、平成29年度に道路橋示方書の改訂があったため、改定後の設計法により、橋りょうの照査計算を実施するものです。</p> <p>15者の入札参加申込みがあり、2者辞退、2者が最低制限価格を下回り失格となり、他11者が最低制限価格と同額であったため、くじ引きとなりました。</p> <p>今回の道路橋示方書の主な改訂としまして、外力や抵抗力等の計算方法が改訂されたため、すでに新しい計算ソフトを導入しているコンサルとすれば、手間も少なく済むため、受注意欲が高く、落札率が低くなったと推察されます。</p> <p>○積算方法を理解している事業者であれば、積算内容を正確に把握できるため、受注意欲が高い業者が多い業務だと同様の傾向がみられています。</p> <p>○最低制限価格は同様に積算ができるため、最低制限価格と同額による落札は、工事においてもあります。特に土木一式工事と舗装工事が多い傾向があります。</p>

○落札率が低い要因は何か。

○こちらは指名競争入札により発注したコンサルタント業務で、落札率が低いものから抽出されています。

パシフィックコンサルタンツ株式会社中部支社が落札率 79.6%で落札しています。

本業務は、平成 27 年に実施された測量設計業務に基づき道路予備修正設計及び矢作川堤防において堤防安定解析を行い、現地形が改変された際に堤防の安全性が保たれているか確認する業務です。

6 者の指名競争入札で実施し、1 者辞退、1 者応札がなかったため、棄権となりました。入札金額が低い 1 者と入札金額の高い 3 者に分かれ、受注意欲の差がはっきりとした入札となりました。

落札したパシフィックコンサルタンツは前年度に同路線の計画協議資料作成業務を実施しているため、現場状況を熟知しており、受注意欲も高いことから落札率が低くなったと推察されます。

3 【No.45】みつわ広場ほか 1 施設便所改修  
工事（岡崎市東河原町ほか 1 箇町地内）

○落札率が高い要因は何か。

○こちらは落札率が高いものから抽出されています。

この工事は、みつわ広場（旧大雨川小学校）とホテル学校の和式トイレを洋式トイレに改修する工事になります。こちらの 2 施設は岡崎市内の東の端に位置しており、長距離移動となることから、経費がかさみ、落札率が高くなったと思われます。1 者のみ入札に参加し、大黒屋建設㈱が落札率 99.8%で落札しました。

○参加者が少ない要因として工事の難易度も関係したのか。

○この工事は、難易度が高い工事とは言えないため、工事場所が岡崎市の東端であることにより参加を見送った事業者が多かったと考えられます。

4 【No.1】仁木浄水場電動弁整備工事（岡  
崎市仁木町地内）

○落札率が高い要因は何か。

○こちらは指名競争入札で落札率が高いものから抽出されています。

この工事は、仁木浄水場に設置されている電動弁の整備工事を行い、設備の性能回復を図ることを目的とする工事です。

対象設備は、株式会社栗本鐵工所（てっこうじょ）により、設計・製造された設備で、製造者独自に開発した技術により構成されており、本工事を行うためには、当該設備に係る技術的知識が不可欠であるため、当該業者指定の維持管理業者である「三愛物産株式会社」と「株式会社守谷商会 名古屋支店」の2社にて指名競争入札を行っています。

浄水場の運営を止めることなく作業をする必要があることから、難易度も高いと推察されます。そのことから落札率が高くなったと思われます。落札業者は三愛物産株式会社が落札しました。先ほどの入札参加停止にありました業者ですが、入札参加停止前の入札になりますので、特にこの工事に関してのペナルティはありません。

5 【No.17】 道路整備工事（週休2日）（岡崎市 中島東町地内 市道中島7号線）

○参加者が多い要因は何か。

○こちらは参加者数が多いものから抽出されています。

この工事は、地元からの要望により、老朽化した道路側溝の布設替えを行う工事です。19者の入札参加申し込みがあり、12者が最低制限価格と同額であったため、くじの結果、柏秀建設株式会社が落札しました。一般的な道路整備工事のため難易度も低く、交通規制の影響を受ける人も限られ調整が容易であるため、参加者が多くなったと思われます。

6 【No.117】 配水管布設工事（週休2日）（崎市 緑丘二丁目ほか1箇町地内）

○不調になった要因（総合評価方式の案件で金額が高いにも関わらず参加者がいなかった要因）は何か。

○こちらは参加者数が少ないものから抽出されています。

この工事は、老朽化した水道管を布設替えます

る工事です。1者入札に申込みしましたが、辞退して不調となりました。こちらの1者は、配置予定技術者が他の工事で専任となっており、その工事が完成しないと落札できない条件が付いておりましたので、辞退したと思われる。布設替える水道管の管口径がφ200で延長601.8mと長いこともあり、工期内に終わることが難しいと考え、参加者が少なくなったと思われます。その後、延長を短くし再度入札したところ、株式会社三河設備が落札しております。

7 **【No.26】** 下水道管渠築造工事（岡崎市広幡町ほか1箇町地内）

○契約金額が高い要因は何か。

○こちらは契約金額が高いものから抽出されています。

この工事は、平成20年8月末豪雨で甚大な浸水被害が発生した伊賀町愛宕地区の雨水排水を担う下水道管渠を築造するものです。工事延長238.6mで、内径1800mmの推進工事になり、工事規模が大きいため、契約金額が高くなりました。予定価格超過のため無効となったため、速やかに再度入札を行いました。再度入札を行った結果、予定価格以下となったため、徳倉・大伸・畔柳特定建設工事共同企業体が落札しました。

○工法的に高くなる工事なのか

○推進工法であるため、大きな縦の穴を入口と出口に開けて、その間にトンネルを作るような工事になり、高額となります。

8 **【No.10】** 岡崎城跡坂谷曲輪発掘調査普及業務（岡崎市康生町地内）

○契約金額が高い要因は何か。

○本業務は、令和2年度に実施した予備調査的な発掘調査に引き続き、岡崎城内の坂谷門及びその周辺広場における石垣等の本格調査を行い、記録を保存するものです。

調査対象面積は273㎡と広くはありませんが、第3四半期の発注の中では高額の案件となりました。

費用内訳としましては、ほとんどが発掘に

9 【No.7】岡崎市大門学区こどもの家ほか

1 施設外部改修工事（岡崎市八帖南町地内）

○随意契約とした理由は何か。

○初回入札が不調となったとのことであるが、工事の難易度が高いのか。

おける人件費となります。あと、舗装取り壊し、復旧工事に係る費用、及び基準点測量の費用が含まれています。

入札結果としましては、岡崎城跡発掘実績のある二友組が落札しました。

○こちらは随意契約を行ったものから抽出されています。

この工事は、岡崎市大門学区こどもの家及び岡崎市計量検査所の外部改修を行う保全工事です。

本工事は、10月11日開札の競争入札に付し、不調となったため、再度の入札に付す時間がないことから、地方自治法施行令第167条の2第1項第8号の規定に基づき随意契約するものです。

トーヨー建設株式会社は、入札に参加した唯一の事業者であり、配置予定技術者が当該工事に従事不可能なものであったため、失格となりましたが、当該業者は、他に本工事に必要な資格を有した技術者がおり、請負可能であることを確認したため、随意契約をするものです。

○不調の要因は、工事の難易度よりも技術者不足によるところが大きいと考えております。この工事は、今回、不調となっておりますが、その前にも不調となった工事を改めて発注した工事です。

最初に不調となった際は、参加者がいなかったため、ほかの施設の工事と併せて発注を行いました。他の工事と併せて発注を行うことにより、工事規模が大きくなり、利益が大きくなる効果があります。貴重な技術者を配置するためには、利益をより出せる工事を選択する傾向があるため、今回はこのように対応しました。

○市内事業者に多くの受注機会を提供する

<p>10 <u>【No.77】岡崎市立岡崎小学校中棟大規模改修電気設備工事（岡崎市針崎町地内）</u></p> <p>○2回連続で予定価格以下の入札がなかったため随意契約となった理由は何か</p>	<p>ために工事を分離、分割するという考え方がある一方で、技術者不足の現状では、細かくしすぎると、取りに来てくれないということもあり、苦慮している。</p> <p>○こちらは2回連続で予定価格以下の入札がなかったため随意契約とした工事になります。</p> <p>この工事は、岡崎市立岡崎小学校中棟の電気設備改修工事及び改修工事に伴う屋外の電気設備工事を行うものです。</p> <p>1回目の入札時に1者の入札参加申し込みがあり、予定価格超過のため無効となったため、再度入札を行いました。再度入札を行いましたが、予定価格を再び超過したため、通常であれば入札回数は2回で終了ですが、予定価格と乖離が概ね5%以内であったため、不落随契に移行し、見積合わせを執行しました。随意契約先は、入札申し込みがあった、株式会社イクスとしました。</p> <p>予定価格税抜き6295万円に対し、2回目のイクスの入札額6408万円の差113万円の超過により無効になりました。令和5年度から総合評価落札方式対象工事全件を予定価格事後公表にしたための弊害と思われま</p>
<p><u>【その他】</u></p> <p>1 <u>中間報告書の内容について</u></p> <p>○提言に対してどのように対応するか検討をしているのか。</p>	<p>○先進自治体の取組を参考にして、予定価格事後公表の継続と負担軽減の両立を図っていきたくて考えております。また、技術不足への対応についても、検討をしております。</p> <p>○来年度はアジア大会の準備等、期限が決まっている大型工事の発注が控えているため、少しでも、入札不調を防ぐ取組を行っていきたくて。</p>

○技術者不足に対応するためにフレックス制度の導入とはどのようなものか。

○業者側とのコミュニケーションを行うことはあるのか。

○工事期間を事業者側の都合が良い期間である程度設定できる制度であり、通常工期に4か月程度、着手まで余裕を持てるような制度となる。

○業界団体からの要望書の提出等を通して、コミュニケーションを図っている。個別での要望ではなく業界からの要望についての情報収集は適宜行っている。